

## 平成 25 年 9 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 25 年 9 月 19 日（木）午後 2 時 40 分～午後 4 時 00 分

2. 場 所 岸和田市立公民館・中央地区公民館 3 階 講座室 4

### 3. 出席者

委員長 中野 俊勝 委員長職務代理者 川岸 靖代 委員 坂田 忠義  
委員 谷口 馨 教育長 永本 定芳

### 4. 事務局出席者

教育総務部長	板東 正人	学校教育部長	小池 俊一
生涯学習部長	植原 和彦	理事兼学校管理課長	門林 啓之介
総務課長	藤原 芳治	産業高校学務課長	直 清司
学校教育課長	寺田 博	人権教育課長	篠本 治久
生涯学習課長	佐藤 正	スポーツ振興課長	元廣 秀晴
郷土文化室長	南 美恵子	図書館長	森 正之
総務課参事	大西 謙次	総務課参事	中野 忠一

開会 午後 2 時 40 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に谷口委員を指名した。

傍聴人 0 名

報告第 47 号 図書の寄附について（全小学校）

報告第 48 号 産業高校市民公開講座「パソコン講座・エクセル入門」の実施について

○中野委員長

報告第 47 号及び報告第 48 号については、書面での報告です。ご質問、ご意見等ございませんか。

○門林学校管理課長

報告第 47 号については、9 月 3 日に大阪土地家屋調査士会会長 加藤 幸男 様より、学校図書に使用してほしいとの趣旨で、書籍「じめんのボタンのナゾ」24 冊（換算額 24,000 円）のご寄附がありましたので報告するものです。この作品は富山県富山市蜷川小学校 2 年（当時）の本吉凜奈（もとよし りんな）さんが、29 回全国小中学生作品コンクール生活科部門最高賞「文部科学大臣奨励賞」を受賞された作品で、表示登記制度に深くかかわる「公共基準点」と

言われるものを、夏休みの課題として小学生らしい視点から、いろいろと調べる過程を上手に表現されていた作品を土地家屋調査士会で編集・製本されたものです。

○直産業高校学務課長

報告第 48 号については、岸和田市立産業高等学校において実施する市民公開講座「パソコン講座・エクセル入門」についての報告するものです。11月 19 日から 12 月 5 日まで毎週火曜日・木曜日に午後 6 時から 8 時まで全 6 回の市民公開講座を実施いたします。対象者は岸和田市内在住者・在勤者（学生を除く）で、定員は 20 名で申し込み多数の場合は抽選いたします。

○中野委員長

申し込み多数の場合は抽選ということですが、最近の申し込み状況はどのようにになっていますか。

○直産業高校学務課長

30 名から 40 名を超える申し込みがあり、抽選とさせていただいております。

**報告第 49 号 平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果について**

○中野委員長

報告第 49 号 平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果について、事務局から説明をお願いします。

○寺田学校教育課長

本件は、4 月 24 日に市内小学校 6 年生・中学校 3 年生を対象に行なわれた、全国学力・学習状況調査の結果等の報告でございます。調査教科については小学校では国語・算数、中学校では国語・数学で、各教科とも調査 A 「知識」に関する調査と、調査 B 「活用」に関する調査でございます。同時に児童生徒アンケート・学校アンケートが実施され、学習や生活の状況、学校の取組みに関する調査が行われました。本市の学力の状況は、平均正答率で全国と比較すると、小学校においては、各教科知識に関して 2~14 ポイント、活用に関して 3~10 ポイント下回っています。また、中学校においては各教科知識・活用とも 3~15 ポイント下回っています。正答数の分布については、特に各教科活用において高位層が少なく低中位層が若干多いという状況で、これまでの学力調査の傾向と同様、知識・技能を活用する力に課題が見られます。また、小学校・中学校ともに活用における無回答率が増加しています。

生活習慣や学習環境等では、教科の学力と深く関係している「朝食摂取」「起床時刻」「復習の実施」などの項目では、依然として課題がありますが、「家庭での宿題」の項目においては、家庭で宿題に取り組む子どもの割合は増加傾向にあります。

改善策については、今回の調査結果を分析・考察し、課題を把握して、学力向上プロジェクトチームの常設、学力向上支援事業の実施、スクール・エンパワーメント推進校での研究、自学自習力育成事業の実施など様々な取組みを継続するとともに、新たな取組みとして、大阪府教育委員会が作成した「力だめしプリント」「ワークブック」などを活用し、特に知識・技能

を活用する力を高められるようにしてまいります。

また、生活習慣や学習環境の改善には、学校だけでなく家庭・地域の協力が必要なことから、保護者向けリーフレット「平成25年度版 岸和田の子どもたちに確かな学力を！」を作成し、小中学校の全児童生徒の保護者に配付し、岸和田市Webサイトにも公開しながら、地域にも協力を働きかけます。

○中野委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○谷口委員

厳しい結果となっており非常に驚いています。生活習慣や学習環境に関する調査結果のなかで「家庭学習を全くしない」と答えた割合が高いという点が気になりました。また、「自分にはよいところがある」と答えた割合が低い点が残念に思います。子どもたちが自分自身のことを好きにならないと、なかなか生きていく力は身に付かないと思います。「地域の行事に参加する」が全国平均以上で、「学校で友達に会うのが楽しい」も全国平均並みという点については、評価すべきことであり、先生方のご努力を感じました。

都道府県別の順位などを見ると、秋田県、福井県、石川県などが上位にランキングしていますが地域性が順位に影響しているのでしょうか。

○寺田学校教育課長

まず、自分に良いところがあるという自己肯定観というのは、子どもたちの成長にとって大変重要なものであると捉えています。全国平均に近づいていたものが今回非常に低いということを重く受け止めています。もちろん家庭・地域のなかで褒められることもあるでしょうが、学校の授業の中で、友達から「すばらしい意見やったよ」と互いの意見を認め合って自己肯定観を高める、あるいは先生からのアドバイスで「今の着眼点はおもしろかったね」と言っていただけるなどの積み重ねにより自己肯定観を高めることができます。これからは、運動会や文化祭などが予定されていますので、様々な場面で子どもたちが自己肯定観を高められるよう努めてまいります。都道府県別の順位については、最低平均正答率と全国平均との差が縮小傾向にありますが、大阪府あるいは岸和田市に課題が多いという実態は、おっしゃるとおりでございます。もちろん様々な取組みをされている他の都道府県の事例について研究を進めてまいりたいと考えています。また、先生方の研修の場においても取組みの進んでいる自治体から講師を招くなど、良いところを取り入れてまいりたいと考えています。岸和田市の中でも地域性というものもあるとは思いますが、大規模校、小規模校にかかわらず、例えば学力向上プロジェクトなどの取組みで成果が上がっている学校もありますので、積極的にその部分も他校に伝えながら、岸和田市全体の学力向上に繋げてまいります。

○谷口委員

学校訪問で伺った学校では、学力向上の取組みとして、朝の小テストを続けていった結果、成果が得られたとのお話を伺いました。校長会などで積極的に情報交換を行っていただき、岸

和田市全体のレベルアップに繋げてもらいたいと思います。

○川岸委員長職務代理者

生活習慣や学習環境に関する調査項目に一部誤解をまねきやすい表現があるように思います。例えば、「家で宿題をしない」という項目ですが、中学生になると宿題はなく、試験前などでは課題が与えられます。この場合、生徒たちは与えられた課題はこなしているが、宿題ではないと捉え回答している場合もあると思います。皆が共通の理解のもと回答できているのか疑問に感じました。もう少し具体的な質問方法や回答方法に対する説明が必要ではないかと感じました。

○寺田学校教育課長

宿題や予習・復習を含めた家庭学習については、今年度、学力向上支援委員会が作成した「家庭学習の手引き」を各学校でアレンジしながら保護者に配布するようにして、子どもたちの自学自習の手助けができるようにしています。委員のおっしゃるように特に小学生については、設問の意図していることを理解して回答できているのか疑問に感じる部分もあります。

○坂田委員

家庭学習をしない、復習をしない子どもたちが多いという結果については、学校での授業が、家庭での復習や予習に繋がる授業となっているのか疑問に思いました。子どもたちが自主的に復習・予習を行うような授業改善が求められていると感じました。

○中野委員長

今回も、調査結果に対する分析・考察や、課題の把握及び改善策については、わかりやすく的確に表していただいていると感じました。これに基づき次は、校長先生をはじめ学校現場の先生方が、児童生徒一人一人に応じたきめ細い指導をしていただき、基礎基本の定着と活用する力の育成のため、授業点検や授業改善に積極的に努めていただきたいと思います。また、以前から読解力、論理力、表現力、コミュニケーション能力など、特に自分から発信する力が弱いと言われていますので、これらについては、子どもたちが本質を見抜く力、集中して考える力を身につけさせなければいけないと考えます。そのためには、先生からの一方通行の授業ではなく、双方向での授業への改善が必要であると思います。また、学校だけではなく家庭の協力が不可欠であり、家庭学習の充実が学力と相関関係にあるといわれています。全国的にも小学校、中学校ともに宿題を増やしていく傾向にあるようです。

○寺田学校教育課長

様々なご意見をいただきましたなかで、特に授業改善については、平成23年度より学力向上支援事業という取組みを実施しております。退職校長あるいは大学教授等を学力向上アドバイザーとして各学校に巡回派遣し、授業研究、授業改善に関する指導助言をお願いしております。

○谷口委員

保護者・地域への働きかけについては、リーフレットの作成配布やWebサイトでの公開とありますが、最近の携帯端末の普及状況から、保護者の多くが携帯端末を持っていると考えら

れますので、これらを利用して、タイムラグなく廉価に情報発信できるのではないかと考えます。

報告第 50 号 平成 25 年度岸和田市中学校総合体育大会について

報告第 51 号 平成 25 年度公民館等まつりについて

報告第 52 号 平成 25 年度岸和田市青少年問題協議会事業について

報告第 53 号 平成 25 年度市民プールの利用状況等について

報告第 54 号 平成 25 年度初心者水泳教室の実施状況等について

○中野委員長

報告第 50 号から報告第 54 号までの 5 件は、書面での報告です。なにかご質問等ございませんか。

○寺田学校教育課長

報告第 50 号につきましては、8 月 9 日から 8 月 31 日の間に行われた、岸和田市中学校総合体育大会の結果について種目ごとに表しています。今回は猛暑の続くなでの大会でしたが、熱中症や大きな怪我もなく実施できました。

○佐藤生涯学習課長

報告第 51 号につきましては、市立公民館、地区公民館、青少年会館等まつりの日程について表しています。

報告第 52 号につきましては、岸和田市青少年問題協議会事業について、7 月 13 日に市立文化会館において実施された「暴走族追放・少年非行防止強調月間」「第 63 回社会を明るくする運動強調月間」市民集会結果と、7 月 20 日に実施された「暴走族追放・少年非行防止強調月間」街頭啓発の結果について表しています。また、岸和田市・小田原市青少年活動交流事業として、12 月 22 日・23 日に新緑会ほか 12 名が神奈川県小田原市に往訪する予定をしています。

○元廣スポーツ振興課長

報告第 53 号につきましては、市内 12 か所で開設した市民プールの開設日数、利用者数などを表しています。

報告第 54 号につきましては、初心者水泳教室の実施状況等について表しています。

プール施設の老朽化に伴う怪我等の心配がされました。今年も無事に実施することができました。

報告第 55 号 閲覧及び研究資料の寄附について

○中野委員長

報告第 55 号 閲覧及び研究資料の寄附について、事務局から説明をお願いします。

○南郷土文化室長

8 月 27 日に、みさき りゅうま 様より閲覧及び研究資料にとの趣旨で著書「新島八重」50

冊（1冊1,680円）を頂いたものです。

○中野委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

特にないようです。報告は以上ですが他に何かありませんか。

（森 図書館長より、10月27日に実施予定の図書館まつりの案内と平成25年度図書館概要の冊子完成の報告あり）

（直 産業高校学務課長より、全日制及び定時制の文化祭・体育祭の案内あり）

○中野委員長

次に議案の審議に移ります。

#### 議案第48号 委員長の選任について

○中野委員長

議案第48号 委員長の選任について、事務局から説明をお願いします。

○藤原総務課長

中野俊勝委員長が、9月30日をもって委員長の任期が満了となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項の規定により、委員長の選任について協議をお願いするものでございます。

委員長の選任については、同法第12条第1項及び岸和田市教育委員会規則第3条第1項により、教育長を除いた委員のうちから、選挙により選出となっております。なお、同委員会規則第3条第3項には、「全員異議がないときは、指名推薦によることができる」となっています。

よろしくお願ひいたします。

○中野委員長

説明が終りました。それでは委員長の選出についてどのようにさせていただきましょうか。

○永本教育長

指名推薦でいいと思います。

○各委員

異議なし

○中野委員長

指名推薦でというご発言があり、皆さんの賛同を得ましたのでそのようにさせていただきます。どなたか推薦をお願いします。

○永本教育長

引き続き、中野委員に委員長をお願いしたいと思いますが、委員の方々いかがでしょうか。

○各委員

異議なし

○中野委員長

ご賛同いただきましたので、引き続き委員長をお受けいたします。

議案第49号 委員長職務代理者の指定について

○中野委員長

議案第49号委員長職務代理者の指定について、事務局から説明をお願いします。

○ 藤原総務課長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第4項の規定及び岸和田市教育委員会規則第3条第2項及び第3項により、委員長の選出に準じ、教育委員会の指定する委員が委員長職務代理者となりますので、その指定についてお願いいたします。

○中野委員長

説明が終りました。委員長の選出に準じ指名推薦ということでいかがでしょうか。

○各委員

異議なし

○中野委員長

引き続き、川岸委員に委員長職務代理者をお願いしたいと思います。

○各委員

異議なし

○川岸委員

ご賛同いただきましたので、引き続き委員長職務代理者をお受けいたします。

○中野委員長

ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

○中野委員長

本日、予定していた案件は以上です。

続きまして、9月30日の任期満了をもって、坂田忠義委員が教育委員をご退任されますことを報告いたします。

(坂田忠義委員より退任のあいさつ有)

○中野委員長

これをもちまして、9月の定例教育委員会は閉会とさせていただきます。

閉会 午後4時00分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員